秋穂町広報

山口県吉敷郡
発行編集　秋穂町役場
秋穂町（電話4番）
印刷所　国次印刷所

昭和三十七年度 当初予算決る

昭和三十七年度の当初予算が、三月定例町議会で次の通り議決されました。

一般会計

一、予算編成の基本方針

最近の我が国経済は、国際収支の均衡と物価の安定を保持しつつ、目覚ましい成長発展をつづけたが、三十六年度に入って成長速度は予想を上回る勢を示し、民間設備投資を中心とする国内需要の拡大は、輸入の激増と輸出の停滞をもたらし、国際収支の大幅な赤字を見るに至った、他面大港湾における船混み、道路交通の不円滑など、社会資本の立遅れなどがみられ、これらの経済の各分野における均衡の確保が一層その必要性を増加してきた、即ち国の施策はこれら経済の各分野における均衡を図りつつ、引締め基調を堅持し乍ら、税制の改正、社会保障制度の拡充、産業基盤の充実等に力をそそいでおり本町としても、これら財政運営の基本は、国の施策に順応しておるとはいいながら、地方自治体の特色を活かし予算編成に当って、財政の健全性には特に留意し経常的経費はもとより臨時的経費についても出来得る限り経常収入を以てまかなうことを建前とし、長期的視野に立脚した計画性と弾力性につとめております。

特に文教施設、産業関連施設等、これらの整備促進の経費に財政の許容最大限を計上し、当且つ、財源の積極的な涵養確保に意を用いると共に、国或は県の施策である町内県道の整備拡張、はげ山復旧、療養林の改良、漁業増殖センターの設置等強力に推進し、住民の税外負担の軽減を図り、又農決機関、監査機関等の拡充強化、民生の安定、産業の振興に留意し本予算を編成致しました。

歳入に於ては、町財政の健全性の確保、即ち財源の確実性に重点をおき歳出に於ては、物件費、人件費、公債費等、必要やむを得ない自然増は、極力抑制し、消費的経費は極力圧縮につとめ、投資的経費の投入に努め以て行政水準の向上を図っております。

以下歳入歳出各その大要を御説明申上げます。

歳入の大要

歳入予算額九二、〇八一千円を一般財源と特別財源に区分すると、町税等一般歳入予算額五七九六〇千円国庫支出金、県支出金或は負担金、分担金等、特定歳入予算額二四、一二〇千円となっておりますが、一般歳入の主なものを系数的に申上げますと町税に於ては、現年度分は電気ガス税、たばこ消費税三、六四七千円、町民税、固定資産税併せて一六、九五八千円で、予算額二二、一〇〇千円地方交付税は国の予算が前年に比べ七〇三億の増（二〇%）となっておりますが、給与費等平年度単入れに伴う単位費用引上げによる財政需要増加を見込み、前年度交付額に比べ、一五〇〇千円増の三二、〇〇〇千円を計上しております。

特定歳入は、予算総額三四、一二〇千円でその内訳は負担金分担金及び農決機関、監査機関等の拒捕事項、民生の安定、産業の振興に留意し本予算を編成致しました。

歳入に於ては、町財政の健全性の確保、即ち財源の確実性に重点をおき歳出に於ては、物件費、人件費、公債費等、必要やむを得ない自然増は、極力抑制し、消費的経費は極力圧縮につとめ、投資的経費の投入に努め以て行政水準の向上を図っております。

以下歳入歳出各その大要を御説明申上げます。

歳入の大要

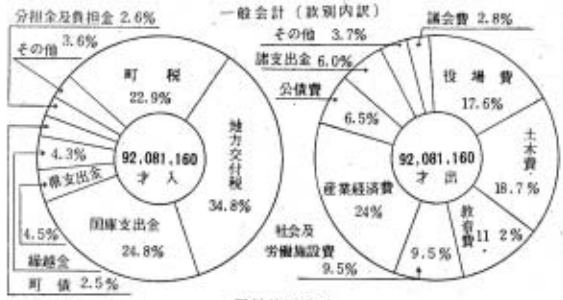
歳入予算額九二、〇八一千円を一般財源と特別財源に区分すると、町税等一般歳入予算額五七九六〇千円国庫支出金、県支出金或は負担金、分担金等、特定歳入予算額二四、一二〇千円となっておりますが、一般歳入の主なものを系数的に申上げますと町税に於ては、現年度分は電気ガス税、たばこ消費税三、六四七千円、町民税、固定資産税併せて一六、九五八千円で、予算額二二、一〇〇千円地方交付税は国の予算が前年に比べ七〇三億の増（二〇%）となっておりますが、給与費等平年度単入れに伴う単位費用引上

歳出の大要

歳出予算総額九二、〇八一千円は基本方針に基き、編成致しておりますが、その重点並びに概要を申上げますと、国の諸施策に副い本町においても町民所得増大に施策の重点を置きつゝ一般行政水準、教育行政水準の向上に充分意を注いでおります。特に産業経済費の支出予算額は、前年比一二、四九三千円で二一%の増となっております。

報酬費用弁償条例及び諸給与条例の一部改正に伴うこれ等の人件費は、昇給等の自然増を除き、約一、五九六千円増となっております。

本予算を一般行政費、投資的経費、公債費並びに単費支弁的経費に分別致しますと、人件費、物件費等の一般行政費に三四、八〇六千円で支出予算総額の三八%弱でその他の行政費事業等に伴う分担金及び負担金が二、三八九千円漁港海岸保全施設、港湾局部改良の義務的経費に四〇、七二九千円で支出予算総額の四四、二%弱、公債費六、〇〇七千円で六、五%、一般単費、貸付金等の単費支弁的経費、四五一千円で〇、五%となっておりまして、これらを各款別に分類致しますと、別記グラフのとおりであります。



一般会計歳入歳出予算額

歳入の部

款　項	予算額
町税	21,100,200
地方交付税	32,000,000
企業及財産収入	318,600
分担金及負担金	2,389,000
使用料及手数料	613,000
国庫支出金	22,871,000
県支出金	4,100,860
寄付金	150,000
繰越金	4,000,000
雑収入	2,238,500
町債	2,300,000
合計	92,081,160

歳出の部

款　項	予算額
議会費	2,567,900
役場費	16,202,900
消防費	850,200
土木費	17,256,400
教育費	10,290,300
社会労働施設費	8,736,800
保健衛生費	977,100
産業経済費	22,063,000
財産費	350,600
統計調査費	17,700
選挙費	348,900
公債費	6,007,000
諸支出金	5,516,700
予備費	895,660
合計	92,081,160

国民健康保険特別会計歳入歳出予算

歳入の部

款　項	予算額
町税	7,563,300
使用料及手数料	10,000
国庫支出金	6,463,500
県支出金	100
繰入金	100
繰越金	200,000
雑収入	200
合計	14,237,200

歳出の部

款　項	予算額
役場費	1,080,300
保険給付費	12,073,500
保険施設費	423,000
公債費	10,000
諸支出金	461,400
予備費	189,000
合計	14,237,200

融資住宅特別会計歳入歳出予算額

歳入の部

款　項	予算額
融資住宅借家料	184,300
雑収入	20,000
繰越金	1,000
合計	205,300

歳出の部

款　項	予算額
住宅協会費	192,500
予備費	12,800
合計	205,300

秋穂町国民健康保険 特別会計予算

当町の国民健康保険事業の推移、既況を見ます時、本事業の主幹をなす保険給付費を見ますにこれが受診率の上昇は毎年三〇%に近い系数を示し一人当りの費用額も三十六年度の急上昇は医療費の改訂に基因もありますが、年毎に上昇の一途をたどって居ります。

この推移等を勘案し本年度当初予算を策定しておりますが、昨年度予算と変りました主な点を挙げますと、歳入において法の一部改正による国庫負担率が昨年総医療費の二割が本年二割五分になって居り、保健婦及事務費の国庫支出が各々若干増して居ります。

尚、本年は会計独立の原則通り一般会計から繰入金をしていないこと並びに前年繰越金を若干計上しております。

歳出の面では、給付費の自然増加程度で内容に於てはあまり変っておりません。本特別会計は御承知のように歳出の療養給付費即ち被保険者の年間医療費策定が予算件子となりまして当三十七年度は、この医療費を一件当り一四〇点即ち一、四〇〇円とし、受診率一二五%被保険者六、七〇〇人で年間総医療費二三、四五〇千円と策定、これに伴う給付費一一、七二五千円を予算計上しております。

従って歳入の国庫負担金はこの総医療費の二五%を計上することになります。

国民健康保険だより

◎**被保険者の移動の届出は早く**

保険法の規定により次に該当する人の世帯主は、該当した日から十日以内役場住民課へ届出て下さい。

1. 退職等で社会保険（健康保険共済組合、日雇保険、船員保険等）の資格がなくなった人
2. 町外からの転入者で社会保険等の資格がない人
3. 現在いずれの社会保険にも加入していない人
4. 現在、秋穂町の国民健康保険の被保険者であって就職等で社会保険の被保険者となった人
5. 秋穂町の国民健康保険の被保険者で町外転出する人

◎**届出の方法**

国民健康保険を出る人―国民健康保険の被保険者証と印鑑

国民健康保険を出る人―国民健康保険の被保険者証と印鑑及び社会保険の被保険者証を御持参下さい。

該当者で未届の方は、いますぐ町役場住民課で手続きをして下さい。

尚、届出をおこたった人に対しては、二千円以下の過料が科せられることもあります。

◎**皆さんの被保険者証は、検認が済ましたか**

三月に被保険者証の検認を行いましたが、その時、検認を受けなかった方が多少、見うけられます。

被保険者証には、秋穂町の検認がありませんと使用することができませんので早く検認を受けて下さい。

◎**受診する時には、必らず被保険者証を病院の窓口に提示して下さい。**

被保険者証を提示しませんと、保険として取扱ってもらえない場合があります。お医者さんにも大変御迷惑をかけますので、必ず窓口に提示して下さい。

又、保険証は皆さんの身分証明に替る大切なものですからよく保管して下さい。

農薬の回収運動

五月一日より五月三十一日

〝もてない農薬は、今すぐだそう〟

「パラチオン」、「ホリドール」や「テップ」などは個人が使用したり持っていることはできません。

不法に持っていた農薬が原因で、毎年多くの人が死んだり事故を起したりしています。県では不正に持たれている特定毒物を回収して事故の防止を図ることにしております。

〝農家の皆さんへ〟

あなたの家に持っていけない農薬がありましたら、容器物と一緒に地区農業委員さんのところへ今すぐ出して下さい。

この運動期間中に出された方は、特に処罰の対象にいたしません。

威力を加えた 秋穂町消防団

秋穂町では此の度、FG45最新型の森田式消防ポンプ自動車一台を購入しました秋穂町消防団中央分団に配属し今後の消火活動その他に大いに威力を発揮することになりました。

参議院議員選挙をキレイにしましょう

最近の全国的な世論調査や、各地の実態調査によると、選挙のときに投票しなかった者の率は、二十代の者が最も高く、次いで六十才以上、三十代、五十代、四十代の順となっています。六十才以上の者に棄権者が多いのは、病気等で投票に行けなかったものでしょうが、二十代の者の棄権率が高いということは、注目すべきことではないでしょうか。

二十才に達し、大人の仲間入りをして選挙権を得たことの感激は、投票率においても当然最高を示すはずなのに、結果が全く逆の状態であることは、考えられないことです。

それが、ただ無関心なためでなく、選挙界のみにくさに顔をそむけて、投票に対する意欲を失ない、自らの権利を投げ出したものであれば大変なことです。

このようなことが、類もつてゆきますと、遂には、議会政治を否認し、ようやく育ちはじめた我が国の民主主義をふみにじつてしまうことにもなりかねません。

主権を大切に

このようなことにならないようにするためには、一人一人が主権を大切にし、まず選挙をキレイにすることです。

近く参議院議員の通常選挙が行なわれますが、今度こそは、金や品物に惑わされたり、義理や人情に負けたりしないで、各人が自分の一票を清く正しく行使して、明るい民主的な政治に通じる道をひらきたいものです。

運転者も歩行者もゆずり合つて事故防止

恐ろしい交通事故を防ぐため、車を運転するときや道路を歩くときは、つぎのことを必らず守りましょう。

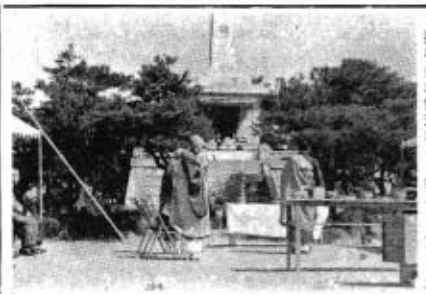
▽運転者のかたへ

○酒をのんで運転しない
○むりにスピードを出さない。
○無免許で運転しない。
○道路の中央から右側にはみ出さない。
○横断歩道などで歩行者がいるときは、一時停止するか徐行して、歩行者を先に通す。

▽歩行者のかたへ

○歩道、車道の区別のない道路では、かならず右側のはしの方を通る。
○信号機のある交差点では、信号が青色（進め）になつてから渡る。
○近くに横断歩道があるところでは、かならず横断歩道を通る。
○道路を斜めに横断したり、車のすぐ前や後を横断したりしない。
○踏み切りでは、必ず一時停止つて安全をたしかめる。

招魂祭盛大に挙行される



桜花薫る四月五日午前十時、昭和三十七年度の招魂祭が仏式により挙行されました。

戦歿者四百六十余柱慰霊の招魂祭は、遺家族始め関係者約四百名の参列のもとに忠魂碑前広場で厳粛且つ盛大にとり行われました。

又、余興として、秋穂町競馬会主催による、奉納大競馬が午後一時より開催され、終日参観者の目を楽しませました。

（写真は当日の式典）

空すにご用心

これから野良仕事にいそがしい毎日が続き農家の皆さんも大変なことと思います。

すところが泥棒もこんな時いもの、又農業生産性も考えずにたゞ小作権のみ主張するものの等さまざまな農家があるのではなかろうか、

但しこの反面新しい農業のあり方を協同の力によつて築きあげるために酪農、養鶏、養豚、果樹等を初めた農家もある、これらの農家の人達の中にも不幸にして数年にしてその事業をやむなく中止した例もある。なかなか思う様にいかない点もある。これらの原因を調査された結果を見ると個人経営と共同経営との技術の相違がその経営の破綻を招いたり、人間的感情の問題も極めて重要な要素となつている。

これらを取り巻く農業経営全般（昔ながらの農村感情）が近代化を阻む要因となつているとのことである「世界の情勢は一刻も休んでいない、日本の農業も独自の条件を以ているとは云えその課題の中心となるところはこの休みを知らぬ発展の中におかれる」

農業問題の改革は一気になされても直ちにその効果があらわれ所得の倍増するものでないことも銘記すると共に明日えの発展向上のために万難を排しても近代化を進めなければならないこれがためには排他的に自分の殻の中にとじこもつて様子を見ているのでは出来るものではない、古い殻は脱皮して広い視野に立つて変り行く農業を考えると共に各自各員が力を合せて構造の改善、近代化農業を進め農家経済の助長と生活の安定化を計ることが大切ではないでしょうか。

（秋穂町農業委員会）

農業構造改善によせて

今日の部情勢は今までの様な考え方の農業経営ではやつて行けない。なんとかしなければならないと云うことは誰でも思つてはいるが、いざなんとかしようと云う段階になると自信を持つて取掛れるものはなかなか見つからない。国が示す新農政では、主産地形成、協業化、選択的拡大とか、いろいろなことを云つているが実際に自分の村の中で飛びついて行ける条件、又は要素がどれだけあるだろうか

これらの見通しも心配するよりしないこと心配するよりは目の前の現金の入る仕事につこう、その内農業に明るい道が拓けるならばそのとき農業を本気でやればよい、又そうしなければ今日の経済が保てない。

ただ飯米のみ作ればよい生産には無関心で資産としての意味で農地（開拓適地の山林、原野）を手放さない。

二、隣近所で話し合つて誰か一人残つて協同留守番をする。

三、商人等には特に注意してお互に不審な人の発見につとめ警察に連絡する。

みんなで楽しんだ町民体育大会

町民様の御協力によつて町民体育大会も、秋穂小学校の鼓笛隊の行進をはじめ、賑かなうちにこの一日が終りました。当日の成績は次のとおりです。

男女綜合　優勝　浦東区　二位　下村区　三位　黒潟南区
男子　優勝　浦東区　二位　黒潟南区
女子　優勝　下村区　二位　浦東区　三位　黒潟南区

農業改良普及所 秋穂支所が開設されました

農業改良普及所は、従来県下に三十一（うち支所一）がありましたが、このたびの編成がえによつて、三十二番目の所、七支所に増されました。その内の一に秋穂支所が加えられ、四月一日から開設されたものです。

農業改良普及所は、改良普及員によつて、地域の特性に応じた、農業技術や生活技術の普及活動を行つて農家の皆さんのお役に立つよう努力していきます。従来より以上に普及所を、ご利用下さい。

普及所開所 あいさつ

支所長　細井花子

此の度、秋穂町役場内に普及所が新設され、私共四名がお世話様になることになりました。

担当は

農業経営　浜野勝博
柑きつ　内田正夫
生活（魚家担当）　石本和子
生活　細井茂子

がそれぞれを担当いたし居ります。

当町は、松田普及員さんが永い間皆さまと共に研究して来られて研究会も数多く発足し、而もそれぞれ的を持つて活動して居られる様に思います。

これら研究会や、生活改善グループの活動は、これからの村作りのために大変重要な役割を持つていると思います。

私共は皆さま方と共に、農家生活のよりよき発展を目ざして歩んで行き度いと念願して居ります。

もとより浅学非才ではございますが、力一杯努力して行く覚悟でございます。

どうぞ充分に御引廻し下さいまして、皆さまの活動がより活発に、更に発展して行きます様、御支援をお願い申上げて御挨拶といたします。

うれしいなぼくらの給食室

学校給食問題が最近大きくとりあげられていますが、当町でも秋穂小学校に引きつゞき、大海小学校にこの度、近代設備の枠を集めた立派な給食設備が完成、新学期より本格的な給食を開始しました。

（写真は給食室の内部設備）

昭和37年度 新区長さん紹介

大河内北　浜崎喜四郎
大河内南　谷　圭介
天神町　原田　吉郎
九郎　内田　定市
浜中　平田　雄三
北条　西村　利治
中条　片岡　義輔
浜内　市嶋　宰一
中川　三尾　徳一
山根　五東　勇一
三好　杉本　宗市
浜南　有富　正直
小浜　長田　一男
赤崎　藤松　芳雄
日地　松富伊之助
金山寺　原田　一男
西貴江　安光　武夫
先吉江　中村　柳南
中道　宮本　敬治
花香南　上田　恵男
花香西　磯部　清一
中津江　松本　哲
屋戸　上江　吉春
加茂　恒隆　由恵
海岸通　中津江　熱
東本町　宮の旦　勝司
上本町　黒潟南　
本町　大河内南　
祇園町　若村　奈男
黒潟南　大河内南　
黒潟北　吉谷　嘉夫
黒潟南　末貞　義孝
繁光　為一　信明　義治
原　道雄　時乗　勇人
西天田　松西　信行
東天田　伊藤幾之助
宮ノ旦　田中　横一
黒潟北　荒見　ツル
黒潟南　安光　悦子
繁光　為一　原田　秀寛
原田　スミ　田中　チヨ
田中　チヨ　田勢　亦一
田邊　サヨ　原田　スミ
田中寅之助　八七　下村　赤崎　久保　清三　博　吉子　下村　森田　英雄　福井　真玄　道雄　原　松西　田中　横一　荒見　ツル　安光　悦子　原田　秀寛　田中　チヨ　田邊　サヨ　田中寅之助

◎印区長会長

婦人音楽部生れる

秋穂婦人会部活動

時代の波にそつて、秋穂婦人会の同好者数十名が参加、婦人音楽部が誕生しました。

月一回の練習ですが、中々の口達者？その進歩もめざましい！、コーラスも上手になりつゝあります。

まだ二回目が終つたばかりの会員のみなさんが方どしどし参加のほど。

指導者は秋穂小学校の前原先生です。みんなが知つた歌からの入門、そして精神の修養も。

また明日への活動力の糧にも、とてもよいそうです。

「よろこびと かなしみ」

永らくこの欄を休載しておりましたが、本号より再び掲載することに致します。

三月中の届出

【出生】

（出生児）　部落名
嶋の名
武田　信一　ユミ子　花香南
岡広　勲二　圧　仕　下村
三藤　和広　佳　子　大河内南
計典　西村　
村光　栄助　市村　武止　修　次　井南
北野　次男　照　美　大河内南
原田　惣市　哲　也　北条
宮本　敬治　貴　彦　祇園町
上田　恵男　恵　子　祇園町

【婚姻】

（夫婦の氏名）　作所
梅内トミ子　近園町
山崎　邦彦　宇部市
尾本　幸治　秋穂二島
松本美成子　秋穂二島道
伊藤文一郎　山口市
星元トシコ　中津江
着　近森　慎治　都濃郡
浜　安子　中
西村　輝雄　兵庫県
門出ヤヨコ　日地
三輪　績二　防府市
原田スミエ　先貴江
山縣　隆子　山口市
磯部　文雄　下村
広海　貞夫　天神町
松崎　静子　天神町
内山重　順子　倍
屋口　戸
淮田　清水　防府
広梅　満津子　大河内北
村尾　中三　恒雄　秋穂二島南
黒　潟
福本　照子　親慈
森田　繁　花谷南
前田　栄子　鉢越司
吉　下　秋穂二島村

【死亡】

（死亡者）　年令　部落名
原田　峯助　七〇　中野
田中　勇　七二　金山横
伊藤幾之助　七一　日地
荒見　ツル　六三　延園町
安光　悦子　二七　東本町
原田　秀寛　八〇　西天田
田中　チヨ　七四　天神町
田邊　サヨ　六六　日地
田中寅之助　八七　下村
木公　フミ　八三　浜中
荒見　ツル　六三　延園町
原田　秀寛　八〇　西天田
田中　チヨ　七四　天神町
田邊　サヨ　六六　日地
田中寅之助　八七　下村
八並トモカ　八二　養老院